

# 環境細菌の気持ちを考える

講師：加藤 純一 教授  
広島大学 大学院先端物質科学研究科

Speaker: Prof. Junichi Kato  
Graduate School of Advanced Sciences of Matter,  
Hiroshima University



## 第6回 ERATO 学術セミナー

ERATO Nomura project :The 6th Science Seminar

環境細菌の行動的環境応答・走化性は環境における生物相互作用の最初期過程で重要な役割を果たしていると考えられている。一般的に環境細菌は20～60種類もの走化性センサーを有しているが、それらを駆使して彼らは環境中で一体何を「**考えているのか**」？

その分子レベルでの解明は、環境細菌の生物相互作用を理解する上で極めて重要である。青枯病の原因菌である *Ralstonia solanacearum* を対象に、今、どれだけ微生物の気持ちが分かっているのか、話してみたい。

日時：2017年10月6日(金)

時間：11:00～12:30

会場：筑波大学 総合研究棟 A110室

参加費無料・事前申し込み不要

ERATO

お問い合わせ：betsuyaku.shige.ge@u.tsukuba.ac.jp  
(研究推進主任：別役重之)

主催：JST ERATO 野村集団微生物制御プロジェクト  
<http://www.jst.go.jp/erato/nomura/>

